
第20回 日本水大賞
2018 日本ストックホルム青少年水大賞

受賞者へお祝いの言葉

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

「第20回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

「特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活動協議会」は、日本で唯一の川の指導者育成・認証システムを創設し、全国各地の川や学校等において環境学習や体験活動を長年実施するとともに、ライフジャケットの着用普及等、水難事故防止にも尽力されてきました。「ヤフー株式会社」は、河川氾濫の被害を少しでも減らしたいという想いから、ホームページ上のYahoo!天気・災害において、各河川に関する防災情報を、利用者の目線に立ち、わかりやすく一元的に提供するサービスを開始されました。「日本河川・流域再生ネットワーク」は、河川再生に関わる情報共有基盤の整備を行うとともに、アジア諸国との人材交流や人材育成の機会創出を継続的に実施されるなど、国内外問わず精力的に活動されてきました。

このような皆様の、世界へ、そして未来へと繋がる活動が高く評価され、今回の受賞につながったものと思います。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催まで2年となりました。東京都を訪れる皆様に安全・安心な環境を提供するとともに、その先の未来を見据え、世界に誇る「セーフシティ東京」を実現していかなければなりません。都による公助の取組と、自助・共助の取組がそれぞれ深化し、洪水・高潮対策をはじめ、東京の災害対策が更に充実したものとなるよう取組んでまいります。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、水防災意識の向上や、水に関する文化や技術の伝承に向けて、益々ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
東京都知事 小池 百合子

祝 辞

第20回日本水大賞「環境大臣賞」を受賞されました「駒生川に魚道をつくる会」の皆様へ、心からお祝いを申し上げます。

皆様は、「故郷に魚が泳ぐ川を取り戻したい」という思いから、大学や地元博物館、行政機関をはじめ地域に暮らす方々と協力して、自然豊かな河川環境の復元に取り組まれてきました。

2年間で7基の手づくり魚道を設置し、その結果、40年ぶりにサクラマスが遡上するなど、大きな成果を上げられており、このたびの受賞はこうした皆様の取組が高く評価されたものと考えています。

また、魚道の設置後も、その耐久性や魚類の調査、魚道の改良、河川環境を守るための普及活動を行うなど、その真摯な活動に深く敬意を表します。

北海道においても、森林から沿岸までの生態系の要素をつなぐ水環境の保全を進めており、「駒生川に魚道をつくる会」の取組は、その手本となるものです。

本道の豊かな生物多様性を次の世代に引き継ぐ皆様の活動が、今回の受賞を契機に、更に活発に展開されていくことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
北海道知事 高橋 はるみ

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第20回日本水大賞「厚生労働大臣賞」を受賞されました「熊本赤十字病院」の皆様にご心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、これまで研究開発を続けてこられた緊急給水システムや循環式水洗トイレを利用した被災地での活動が、被災者・避難者を支援する実践的で優れた取り組みとして高く評価されたものと喜ばしく思っています。

平成28年熊本地震においては、広範囲にわたり断水が発生し、「水」の大切さを再認識したところでした。飲料用や生活用というだけでなく災害時における医療救護、避難所の衛生対策、感染症予防対策等にとっても清浄な水の確保が不可欠です。

貴院が取り組んでこられた災害対応関連技術の研究開発は、災害時において被災者、避難者に対して安全な医療や衛生的な環境の提供を実現するものといえます。

これまで貴院が国内外の被災地において、これらの技術を活用し、まさに「命を守る水」を有効に利用できることをお示しになられたことに心から敬意を表します。

今回の受賞を契機として、熊本赤十字病院が国内外でますます御活躍されることをお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
熊本県知事 蒲島 郁夫

祝 辞

第20回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞された山田堰土地改良区の皆様、「文部科学大臣賞」を受賞された福岡県立伝習館高等学校生物部の皆様に、心からお祝い申し上げます。

山田堰土地改良区の皆様は、約350年前に筑後川に築造された山田堰や堀川用水・三連水車などの維持管理を行うとともに、これらの地域に大きな恵みをもたらしてきた歴史的農業施設を地域の宝として、次世代に引き継ぐために取り組まれた様々な活動が高く評価されたものと考えます。

日本で唯一の石畳堰「山田堰」は、筑後川の急流を斜めに堰き止めることにより、水は堀川用水を流れ、三連水車により川面より高い耕作地を潤しています。

また、昨年7月の九州北部豪雨災害により、山田堰がある福岡県朝倉市は甚大な被害を受けましたが、幸いにも山田堰は無傷でした。今後も山田堰が人々の心を支える復興のシンボルであることを願っています。

福岡県立伝習館高等学校生物部の皆様は、柳川市内を流れる堀割にかつて生息していたニホンウナギに着目し、その復活を目標にした採捕・飼育・放流を行いながら継続的なモニタリング調査・研究を行っています。

ニホンウナギを地域のシンボルと位置づけ、生態系の改善のみならず、地域の活性化という大きな視点をもった優れた活動であるとともに、高校生による実践的な取り組みである点が高く評価されたものと考えます。

柳川の堀割をニホンウナギの聖域にする活動は、養鰻業者や鰻料理業組合など地域の方々からも食文化の維持に関わる活動として温かく受け入れられています。皆様の熱意とご努力に深く敬意を表します。

福岡県では、「ふくおか水もり自慢!」を開催するなど、県内の様々な地域で川や水に関わる活動をされている方々の連携を深める取り組みを進めています。このような中、皆様が農林水産大臣賞ならびに文部科学大臣賞を受賞されましたことは大変喜ばしい限りです。

今回受賞された皆様方の活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されることを祈念いたします。

平成30年6月26日
福岡県知事 小川 洋

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第20回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞された「株式会社コクヨ工業滋賀」の皆様にお心からお祝い申し上げます。

「株式会社コクヨ工業滋賀」の皆様におかれましては、「ヨシで琵琶湖を守るネットワーク」により、地域社会と連携して、ヨシ群落の保全活動を行ってこられました。ヨシ刈りにより得られたヨシをエコ文具（リエデンシリーズ）の原料として有効活用するとともに、その収益を社会に還元するなど持続可能な活動を着実にされてきたことが、今回の受賞につながったものと思います。

滋賀県では、ヨシ群落保全条例を定め、「守る」「育てる」「活用する」の三本柱を中心にして、ヨシ群落の保全に取り組んでいますが、県内各地で多様な主体により実施されているヨシ刈り等の保全活動の力が欠かせない状況となっています。

今回受賞された皆様の取組は、まさにヨシ保全活動の先進的で波及効果の高い取組であり、継続して活動されてきた皆様の御尽力に心から敬意を表します。

今回の受賞を機に、皆様の活動が注目され、活動の輪が大きく広がることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
滋賀県知事 三日月 大造

祝 辞

第20回日本水大賞「市民活動賞」を受賞されました「特定非営利活動法人どんぐり1000年の森をつくる会」の皆様にお心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、「今できること、私たちにできること、そして未来につながること、小さな一粒のどんぐりに1000年の夢を」をコンセプトに、大淀川流域の水源の森の必要性を住民に呼びかけ、趣旨に賛同した12万人もの「どんぐり株主」とともに、大淀川の水質向上と環境保全のために15万本以上のどんぐりの植樹を行うなど、未来の子供たちによい環境と風土を引き継ぐための21年もの長きにわたる活動が高く評価されたものと伺っております。

宮崎県では、再生可能な資源としての森林づくりはもとより、自然条件や森林の機能に応じた整備・保全を推進し、人が自然とふれあい、多様な動植物が生息・生育できる生物多様性に配慮した森林づくり、川づくりに取り組んでおります。

このような中、皆様が受賞されましたことは大変意義深く、喜ばしいかぎりです。

今回の受賞を契機に、皆様の活動が今後ますます発展し、末永く継続しますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
宮崎県知事 河野 俊嗣

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

第20回日本水大賞「未来開拓賞」を受賞された愛媛県立伊予農業高等学校伊予農希少植物群保全プロジェクトチームの皆様、誠におめでとうございます。

このたびの受賞は、効率的な農業経営と水田の環境保全の両立を目的に開発された、稲の食害発生個所をドローンによって把握する低コストモニタリング手法が、検証の結果、農薬や肥料の節減につながる優れた取り組みとして、高く評価されたものであるとかがっております。

愛媛県におきましては、農業に起因する環境への負荷を軽減し、二酸化炭素の削減など地球環境の改善に寄与する環境保全型農業を推進しており、化学肥料・農薬の削減技術の導入等に力を注いでいるところです。

こうした中、若い皆様方が、環境と調和した持続的な農業の発展に資する活動に熱心に取り組んでおられますことを、大変心強く存じますとともに、これまで支えてこられた関係者の方々に深く敬意を表します。

今回の受賞を励みに、皆様方がますます活躍されますことを心からお祈り申し上げます。

平成30年6月26日
愛媛県知事 中村 時広

祝 辞

第20回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞された「やまかわさとみ（山川里海）」様に、心からお祝い申し上げます。

この度の受賞は、小中学生ファミリーを対象として、フィールド体験と作文指導をセットにした活動や、狂言を用いた水環境に関する情報発信が、独創性に富んだ優れた取り組みとして高く評価されたと伺っています。

愛知県では、水辺林の植樹を地域住民の参加によって行うことで、河川への親しみを感じながら、多様な生態系の再生や保全を行う取組や、小学生を対象に川や海の成り立ちや環境、災害などを伝える「出前講座」、さらに川やまちづくりの歴史について、一般募集により集まった方々に現地を散策しながら伝え、地域に関心をもっていただく「ブラアイチ」を実施しています。

今回受賞された活動は、子供たちに水環境の重要性を伝えるための効果的な手法を用いたものであり、こうした栄えある賞を受賞されたことは、大変心強く、まことに喜ばしい限りです。

今回の受賞を契機に、今後ますます活動が発展し、さらに飛躍されますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
愛知県知事 大村 秀章

受賞者へお祝いの言葉

祝 辞

青森県立名久井農業高等学校「TEAM FLORA PHOTONICS」の皆さん、2018日本ストックホルム青少年水大賞の受賞、誠におめでとうございます。

この度の受賞は、植物を用いた水質浄化システムの開発をめざして、美しい花が長期にわたって咲き、蒸発散量の多いサンパチェンスを浄化植物に選定し、それに2種類の微生物を加えて、高い浄化能力をもつシステムを実現させたことや、複数のシステムを比較しながら、浄化能力を着実に向上させた実験過程と実証方法が高く評価されたものと伺っております。

青森県では、未来の青森県づくりの基本となるのは「人財」にあるとの認識のもと、人財育成を県の重要施策に位置付け、様々な取組を積極的に進めているところです。このような中、皆さんがこうした栄えある賞を受賞されたことは大変意義深く、また、これからの時代を担う皆さんが素晴らしい活動をしていることはとても頼もしい限りです。

今回の受賞を契機に、皆さんの研究の成果である「水上に咲く花束」が大きく花開き、世界各地の水質浄化と生活環境の向上に寄与するとともに、皆さんが今後ますます御活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
青森県知事 三村 申吾

祝 辞

2018日本ストックホルム青少年水大賞「優秀賞」を受賞されました岐阜県立岐阜高等学校自然科学部生物班の皆様、誠におめでとうございます。

また、先生方をはじめ、班の活動を支えてこられた関係者の皆様のご尽力に対し、心から敬意を表します。

この度の受賞は、カスミサンショウウオの生息候補地をGIS（地理情報システム）を用いて解析・探索する技術と、環境DNAを用いて環境や生物を傷つけず生息の有無を調べるという技術を統合的に取り入れた生態調査の手法を考察した点や、本手法により岐阜県内で4か所目となるカスミサンショウウオの新たな生息地を発見した点が高く評価されたものと存じます。

岐阜県では、人口減少社会においても地域の活力を維持するために、「人づくり」を大きなテーマとして政策に取り組んでいます。このような中、今回の研究のように次の世代へと自然環境を引き継いでいくための取り組みと、その取り組みに正面から向き合う姿に、大変心強さを感じるとともに、まさに皆様が、これからの「清流の国ぎふ」を造り上げていくのではないかと期待する次第です。

皆様には、今回の受賞を励みにしていただき、更に研究を発展させていただくことをお願い申し上げますとともに、皆様の今後益々の学校生活の充実を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成30年6月26日
岐阜県知事 古田 肇